

ダラス補習校国際部 指導概要

国際部について

国際部は小学1年生から高校3年生までを対象とした学部です。文科省のカリキュラムとは別に、ダラス補習授業校独自の継承語教育カリキュラムで指導をします。子供たちの「生活言語」を基礎に、「読む」「書く」「聞く」「話す」という「学習言語」の習得をめざしています。また、カリキュラムには、グローバルなトピックや日本の文化や習慣の学習を総合的に組み入れ、国際Ⅳを終了する時点では、日本で生活する上で支障のない程度の日本語力を身に付けることを目標とします。ダラス補習校国際部では、日本語検定試験、又はAP Japaneseの試験に合格できる程度の日本語の力をつけ、将来バイリンガル、マルチリンガルとして国際社会の中で活躍していく子供たちの育成を目指し、そのために将来必要となる言語力の習得及び日本の文化習慣に対する理解を目標とした学習を行います。、アメリカでの長期滞在予定の家族のお子さんを対象にしています。原則として保護者の一人が日本語を母語とし、又は家庭内に日本語学習をサポートできる日本語環境があることが条件です。

1. 国際部の対象児童及び生徒（定員各クラス17名）-別紙 進級、卒業基準に準じる。

*学齢を顧慮した日本語力のレベル別に分けられたクラス編成となっています。

- | | |
|-----|---|
| 国際Ⅰ | 年齢相当、又はそれに近い「生活言語」を獲得していること。日本語で会話ができ、教師の指示が理解できること。
対象学齢—小学1年生から4年生 |
| 国際Ⅱ | 小学校2年生以上で、原則として小学1年終了と同等の日本語、国語力があること。
対象学齢—小学2年生から6年生 |
| 国際Ⅲ | 小学4年生以上で、原則として、小学2年終了と同様の日本語、国語力があること
対象学齢—小学4年から中学3年 |
| 国際Ⅳ | 中学1年以上で、原則として国際Ⅲ終了、又は6年生を終了した生徒、それに準じた日本語力、国語力のある生徒。
対象学齢—中学1年から高校3年 |

2. 年間指導方針

- (1) 補習校内では日本語のみで学習することができる。
- (2) 日本語、日本文化の学習に興味を持ち、楽しむことができる。
- (3) 家庭内で積極的に日本語を使うことができる。
- (4) 家庭学習を自主的にし、意欲を持って日本語学習に取り組むことができる。
- (5) 友達と日本語を使って仲良くでき、補習校生活を楽しむことができる。

3. 年間学習目標

- (1) 話す—各レベルに応じた語彙を使い正しい文法で話すことができる。
- (2) 読む—各レベルに応じた教科書の音読がスムーズにできる。
- (3) 書く—各レベルに応じた漢字、語彙を使い作文を書くことができる。
- (4) 聞く—各レベルに応じた内容を聞き取り、会話につなげることができる。
- (5) 統合—各レベルに応じた4技能を使い、自信を持って自分の意見を発表することができる。
- (6) 興味—日本文化、習慣、時事を知り、興味、関心を持てる。

4. 時間割（場合により一部変更することもあります。）4時間授業 42日/年

校時	時間	国際 1, II, III	国際IV
朝の会	8:35～8:40	出欠、本日の予定の確認	出欠、本日の予定の確認
1時間目	8:40～9:30	日本語学習—テキスト	日本語学習—テキスト、時事
2時間目	9:35～10:25	漢字学習—レベル別	漢字学習—AP 漢字
中休み	10:25～10:45		
3時間目	10:45～11:35	国語学習—教科書	教科学習—教科書、副教材
4時間目	11:40～12:30	統合学習—意見発表、他	統合学習—プレゼンテーション、他
終わりの会	12:30	次週の予定、宿題の確認	次週の予定、宿題の確認

*AP 漢字—AP Japanese 合格の為に必要な漢字

*統合学習—児童生徒の生活経験を中心として、学習を総合、統一すること。国際部の場合、児童生徒の日本語での生活体験、生活言語を基礎とし、興味関心を基にした4技能（読む、書く、聞く、話す）総合的、統一的な学習のこと。

4、入学、転入、進級、卒業基準（別紙）

指導内容の充実及び学齢に応じた指導を行うため、国際部独自の基準を設けています。

2021年度 国際部入学及び進級・卒業の基準

1 学習クラスに関する基準

下記のレベルに達している幼児、児童、生徒で、担任或いは校長の推薦のあるものが入学または進級できるものとする。

項目	国際Ⅰ	国際Ⅱ	国際Ⅲ	国際Ⅳ
話す	意思表示ができ、簡単な日本語での会話ができる。日本語力判定テストでLJSに達している。	日常生活に必要な会話力を有し、日本語力判定テストでLJSに到達している。	日常会話の中で意見や感想を言える程度の会話力を有し、日本語力判定テストFJSに達している。	TPOに対応した会話ができる。 意見や、感想を述べるができる程度の会話力を有し、日本語検定4レベルに達している。
聞く	教師の日本語での指示を理解し、学習活動ができる。	*国際Ⅱレベルの内容をほぼ正しく聞き取り、それに対して発表、また適切な作業ができる。 *小学部1年生の教科書の物語文が理解できる。	*国際Ⅲレベルの内容をほぼ正しく聞き取り、それに対して発表、また適切な作業ができる *小学部2年生の教科書の物語文が理解できる。	*NHK Easy Newsの内容が80%理解でき、ナチュラルスピードの日本語が聞き取れる。 *日本語検定4レベルに達している。
読む	ひらがなを読むことができる。	小学部1年生の教科書を読むことができる。	小学部2年生の教科書を読むことができる。	小学部4年生の教科書を読むことができる。
書く	平仮名を大体書くことが出来る。	短文を書くことができる。	400字程度の作文を書くことができる。	授業中に与えられた課題で400字程度の作文を書くことができる。
学習態度	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に日本語を使おうとする。 ・日本語を学習したいという気持ちと意欲を持っている。 ・授業中に英語を使って話さない。 ・学習にまじめに取り組み、授業妨害をしない。 ・宿題が毎週きちんとできる。 ・クラスメートと仲良くできる。 ・理由のない遅刻をしない。 			

*日本語力判定テスト判定。NJS(日本語が話せない)LJS(限られた日本語しか話せない)FJS(日本語が話せる)

2 漢字クラスに関する基準 (判定テスト後に、以下のレベル別クラスで学習するものとする)

漢字クラス	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
レベル基準	ひらがなの読み書きができる。	小学部1年生の漢字を読むことができる。	小学部2年生までの漢字を読むことができる。	小学部4年生までの漢字を読むことができる。
使用テキスト	かんじだいすき1	かんじだいすき2	かんじだいすき3, 4	かんじだいすき5, 6

3 卒業の基準

	国際Ⅰ	国際Ⅱ	国際Ⅲ	国際Ⅳ
卒業の基準	小学部 4 年生学齢相当までの在籍が可能 在籍年数は原則 3 年 間を上限とする。 －卒業不可	小学部 6 年生学齢相当までの在籍が可能 －小学 6 年修了後卒業可	中学部 3 年生学齢相当までの在籍が可能 －小学 6 年修了後卒業可	高等部 3 年生学齢相当までの在籍が可能 －中学 3 年修了後卒業可
日本語能力の目安	—	日本語検定 5	日本語検定 4	日本語検定 3